

梅雨に入り、あじさいがきれいに咲いていますね。
みなさんこんにちは！SSH 文系チームです。今回は小尾英廣と、阿久沢紗子が担当します。
よろしくお祈いします。
さてさて、今回取りあげるテーマは・・・

サイエンスレクチャー

です！！！！

先月15日に行われたこのイベントは地元の中学生を対象に、本校職員がサイエンスの講座を開き、**科学の楽しさを知ってもらうと共に「蕪高生との交流を深める**”というものです。今年度は蕪崎東中、西中、須玉中、泉中、白根御勅使中など近隣8校から38名の中学生が参加してくれました。また、蕪高からも26名がサイエンススタッフとして参加し、実験の準備やサポートなどを立派に務めました。特に今年度は大勢の高校1年生が参加してくれて、科学に興味を持っていると分かり、これからもとても楽しみです。2、3年生のみなさんはさすが経験値も高いので、落ち着いていろいろなことに対応していました。

それではサイエンスレクチャーの4つの講座の内容を簡単に紹介します。

<実施内容>



コース	内容
物理(日高先生)	皆さんは音の正体をご存知ですか？正解は空気の波です。ここでは、参加者の声をオシロスコープで見たり、ストローハーモニカを作ったりしました。
化学(根津先生)	ビタミンと聞くとどんな印象を持ちますか？体にいい？病気に強くなる？講義の後、お茶とビタミン飲料、100%レモン水など5つの飲み物のうち、一番ビタミンCが含まれている飲み物を実験で調べてみました。すると意外な結果に？！
生物(古屋先生)	葉には道管と師管があります。今回はその構造を解き明かすために水酸化ナトリウムで葉の外部を溶かし、中を観察してみました。その姿とは…
地学(中澤先生)	砂。一言でそういいますが、どこまでが砂なのでしょう？また液状化とはいったい何なのでしょう？ストークスの定理を用いながら正体に迫ってみました。

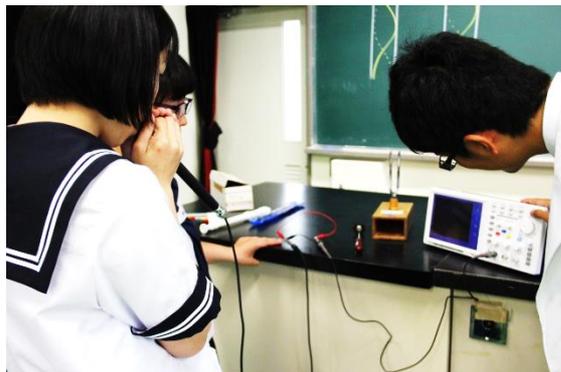
講座は約3時間、講義・実験・まとめの三構成。参加した中学生の皆さんは高校生と一緒に懸命に講義の内容をノートにまとめたり、積極的に実験に参加したりと、有意義な時間を過ごしました。蕪校生と中学生が楽しく交流し、中学生からは「**中学ではできない実験や、知識が増えてとても良い経験になった**」「**蕪高生になって今度は教える側になりたい**」「**高校生や先生の説明がとても分かりやすくて楽しかった**」などの感想が寄せられました。交流を通じて、中学生の皆さんに蕪崎高校全体にも興味・関心を持ってもらえたようです。

◆今回のサイエンスレクチャーに参加した中学生と蕪高生に感想を聞きました。
その一部をご紹介します！

《中学生》

I.Y君(蕪崎西中学校) 生物コース

スライドを用意してくれていたのので、葉の構造などがよくわかりました。また、実験の中で使っていた水酸化ナトリウム(NaOH)はタンパク質を変性させる働きがあり、皮膚などに付くととても危険だとわかりました。



N.Yさん(須玉中学校) 化学コース

実験がとても楽しかったです。特にどの飲料の中にビタミンが多く含まれているのかを探るのが一番印象に残りました。

M.Mさん(蕪崎東中学校) 物理コース

私は中学校で吹奏楽部に入っていて、音ということから興味を持ちました。

ウェーブマシンなど見たこともない実験器具や、オシロスコープで自分の声の波を見たことがとても面白かったです。



本田麻莉愛(1年6組文理科) 化学コース

中学生と一緒に実験をしていく中で、中学生に実験の手順を教えるのはとても難しかったです。しかし、実験はとても楽しく進めることができました。結果実験は大成功したので嬉しかったです。

みなさんもこのようなイベントにぜひ積極的に参加してみてくださいね。文系だから…とか、理科が苦手だし…やSSHに参加してないし…なんてなんて関係ありません。文系である私たちも参加してみましたが、説明することでプレゼン力もアップするし、サイエンスを通じての交流はとても楽しく、且つわかりやすかったです。一生に一度しかない青春の1ページにサイエンスのページが加わるのも悪くないかもしれませんよ。(☆▽☆)

最後に…サイエンススタッフに興味を持ってくれたなら

10月2日(日)に小学生中学生向けの体験型実験工作教室・科学きらきら祭りが開催されます。本校北館は、あの県立科学館のように科学実験・工作のブースでいっぱいになり、例年200名以上の小・中学生が来校します。夏休み明けには、サイエンススタッフを募集します。興味のある方は、ぜひサイエンススタッフにチャレンジしてみませんか？

(文責 2年6組 小尾 英廣 阿久沢 紗子)